



全日本実業柔道団体対抗大会の3部準優勝を報告に訪れた選手ら＝笠松町役場

全日本実業柔道3部準優勝

松波病院選手ら喜び

笠松町役場

今月3日に三重県であった第73回全日本実業柔道団

体対抗大会で3部準優勝と躍進した松波総合病院(笠松町田代)の柔道部の監督、選手らが21日、町役場を訪れ、大会の活躍を振り返った。

同部は創部4年目。初挑戦の前回大会はレギュラー選手の体調不良で初戦敗退したが、今大会ではレギュラーがそろい、決勝進出と躍進した。入賞で来年は2部に昇格する。

主将の田中大地さん、中堅でエースの山口良太さんから選手、総監督の松波英寿

さんが訪問。田中さんは「チーム全員の力で勝ち上がった。次回大会では2部入賞を目指す」と意気込みを語った。自らも有段者という松波さんも「来年の活躍も期待している」と喜び、

古田聖人町長は「笠松、岐阜県の誇りでもある」と賛辞を送った。

柔道部は5月にあった第59回県体重別選手権でも4階級で5人が入賞した。

(三輪真大)